

幸町地区総合整備エリアデザイン



令和7年1月

幸町地区総合整備検討有識者会議

幸町地区には、国の重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎や、呉市の歴史資料を展示している歴史民俗資料館等がある呉市入船山記念館、呉市の芸術の拠点としての役割を担ってきた呉市立美術館等があり、市民や来訪者が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっています。

また、呉市入船山記念館がある入船山は、かつて亀山神社があった場所であり、幸町地区全体に緑豊かな趣ある雰囲気的空間が形成されています。

幸町地区には、戦前は海軍の下士官兵集会所として、戦後は、オーストラリア軍などにより編成された英連邦占領軍が「呉ハウス」として使用し、その後は、海上自衛隊の福利厚生施設として多くの方に親しまれてきた青山クラブや、戦前は、海軍の講堂として、戦後は、海上自衛隊呉音楽隊庁舎として使用されてきた桜松館が立地しています。

こうした幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備することにより、地区全体の魅力を高め、市内の回遊性向上につなげ、市民が普段から利用（活動・交流）し、多くの来訪者が訪れ、滞在することで、にぎわいを創出するとともに、落ち着いた雰囲気の中で歴史・文化を感じることができる地区となるよう、同地区の総合整備について一体的に検討を進めていくこととしました。

この基本的な考え方に基づき、令和5年5月に、建築、都市計画、歴史、文化・芸術の学識経験者等で構成される幸町地区総合整備検討有識者会議を設置し、幸町地区総合整備エリアデザインのとりまとめに向けて、各施設の在り方や持たせる機能、建物の活用方法、整備内容（建物の全部保存、一部保存、建替え、建物の改修方法）等について、専門的な見地から検討を進めてきました。

有識者会議では、幸町地区総合整備コンセプトを「呉の歴史と文化を未来へ～つどう・つながる・感じる・育む～」と定め、「呉の歴史を伝え、感じる施設」、「文化・芸術に親しみ、発信する施設」、「まちの情報発信・賑わいの拠点」の3つの機能を配置する幸町地区総合整備エリアデザインをとりまとめました。

なお、青山クラブについては、有識者会議において、建物を全部保存すべきとの意見も挙がっているため、青山クラブの建物の一部保存を基本としつつ、建物の全部保存についてもエリアデザインの中で掲載しております。

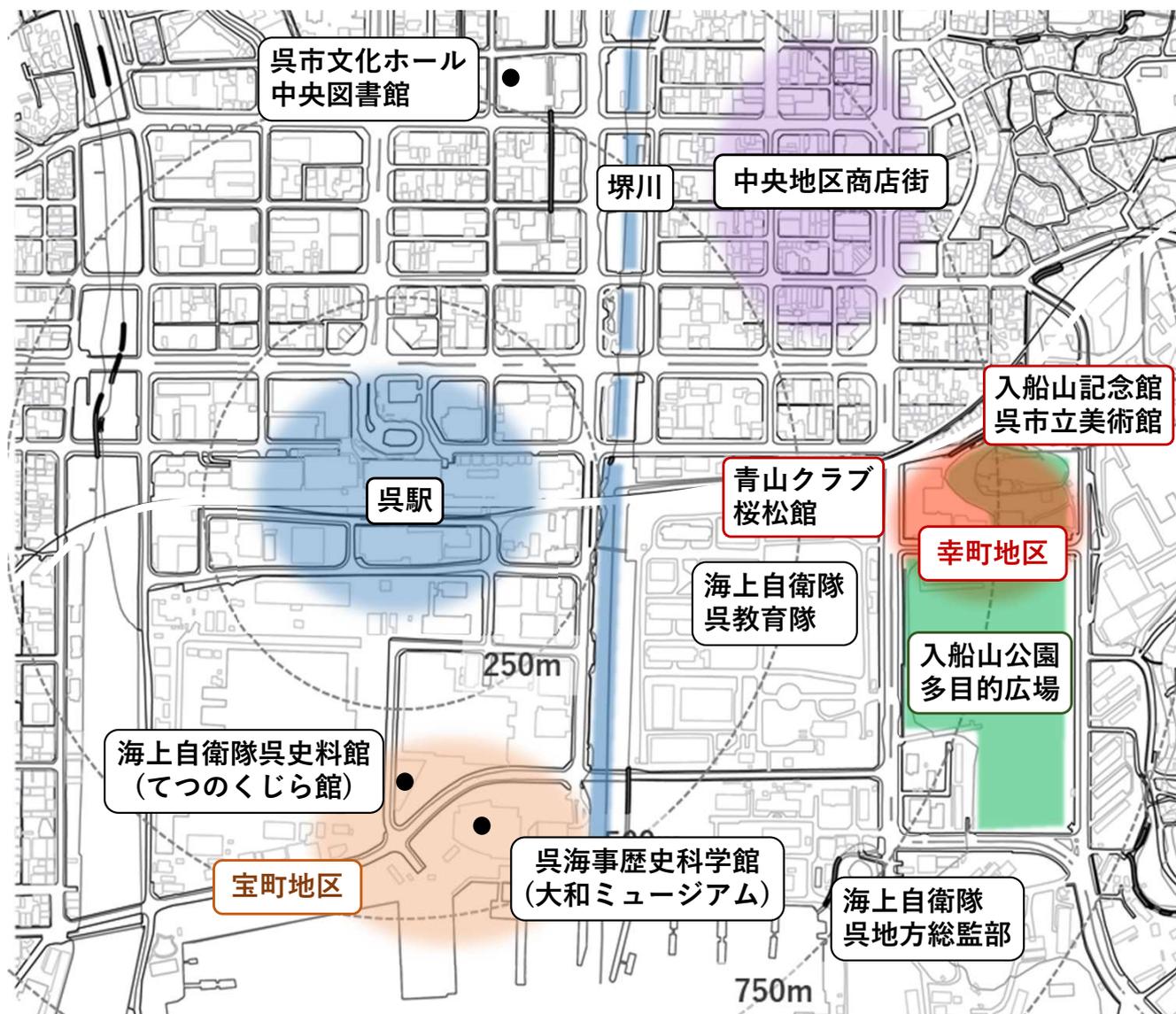
1	幸町地区の概要	
(1)	幸町地区の概要	2
(2)	幸町地区の施設概要	3
2	幸町地区総合整備コンセプト	
(1)	全体整備コンセプト	6
(2)	幸町地区に求める機能	6
(3)	幸町地区に求める機能と新たに整備する施設	8
3	幸町地区総合整備事業案	
(1)	幸町地区施設・機能配置案	12
(2)	幸町地区総合整備イメージパース	14
(3)	青山クラブ保存・活用案（一部保存）	16
(4)	青山クラブ保存・活用案（全部保存）	20
(5)	美術館新築案	22
(6)	桜松館解体・ホール部材移設案	23
(7)	美術館別館活用案	23
(8)	現美術館改修案	24
(9)	入船山記念館活用案	24
(10)	入船山整備案	25
(11)	幸町地区回遊性向上案	26
(12)	中央地区回遊性向上案	28
4	整備事業費，整備・運営方法，整備スケジュール案	
(1)	整備事業費	32
(2)	整備・運営方法	33
(3)	整備スケジュール案	34
5	参考資料	
(1)	幸町地区総合整備検討有識者会議	38
(2)	会議の開催状況とエリアデザインとりまとめの経緯	39

Ⅰ 幸町地区の概要

(1) 幸町地区の概要

幸町地区には、国の重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎や、呉市の歴史資料を展示している歴史民俗資料館等がある呉市入船山記念館、呉市の芸術の拠点としての役割を担ってきた呉市立美術館、戦前は海軍の下士官兵集会所として、戦後は、オーストラリア軍などにより編成された英連邦占領軍が「呉ハウス」として使用し、その後は、海上自衛隊の福利厚生施設として多くの方に親しまれてきた青山クラブ・桜松館があり、市民や来訪者が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっている。

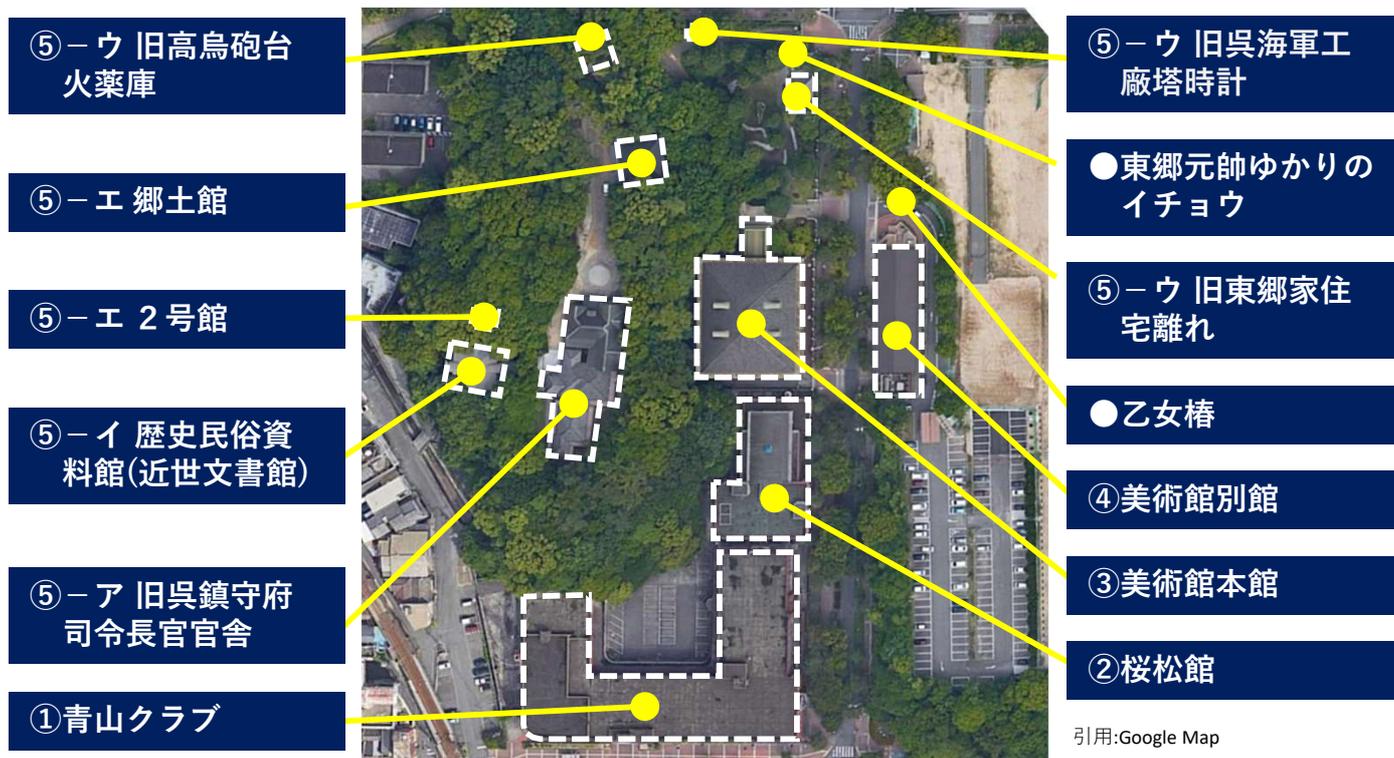
また、JR呉駅や呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館）などがある宝町地区、商店が並ぶ中央地区商店街、さらには、堺川沿いの公園エリアや海上自衛隊呉地方総監部、呉教育隊などとの距離も近く、立地性にも優れた地区である。



幸町地区の法的条件等

項目	指定状況
都市計画区域	広島圏都市計画区域
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種住居地域
都市計画施設	地区公園（入船山公園）
市史跡	入船山及び旧長官官舎
その他の区域等	土砂災害特別警戒区域，土砂災害警戒区域

(2) 幸町地区の施設概要



① 青山クラブ

【昭和11年建築，RC地上3階・地下1階，延べ面積：10,927.2㎡】

- ・戦前は，海軍の下士官兵集会所として，戦後は英連邦占領軍が「呉ハウス」として使用するとともに，海上自衛隊の福利厚生施設として多くの方に親しまれてきた歴史がある。
- ・これまでの建物調査により，建物が耐震基準を満たしていないことや，基礎の一部に問題があること（地下がないエリアの基礎杭の腐食）が判明している。

② 桜松館

【昭和4年建築，RC地上2階・地下1階，延べ面積：1,963.7㎡】

- ・戦前は，海軍の講堂として，戦後は海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用されてきた歴史がある。
- ・これまでの建物調査により，建物が耐震基準を満たしていないことが判明している。また，屋根の架け替えが必要である。

③ 美術館本館

【昭和57年建築，RC地上2階・地下1階，延べ面積：2,790.9㎡】

- ・美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り，文化の発展に資するための施設として，美術品の収蔵・展示や教育普及活動に取り組んでいる。
- ・開館から40年が経過し，施設・設備が老朽化している。
- ・③本館（展示室）と④別館（収蔵庫）が離れており，美術品の搬入・搬出など，運用上の課題がある。

④ 美術館別館

【平成5年建築，RC地上1階・地下1階，延べ面積：777.4㎡】

- ・地下は収蔵庫，1階はミニギャラリー，喫茶コーナーとなっている。
- ・③本館（展示室）と④別館（収蔵庫）が離れており，美術品の搬入・搬出など，運用上の課題がある。

⑤ 呉市入船山記念館

⑤ーア 旧呉鎮守府司令長官官舎

【明治38年建築，木造平屋建て，延べ面積：527.1㎡】

- ・明治22年に建設された軍政会議所兼水交社が，明治38年の大地震により倒壊したことを受けて，洋館部と和館部を持つ平屋建てとして再建。
- ・平成4年から3年かけて復原修理を実施。平成10年，国重要文化財に指定。

⑤ーイ 歴史民俗資料館(近世文書館)

【昭和61年建築，RC3階建て，延べ面積：484㎡】

- ・呉市の歴史資料を展示・収蔵しているが，設備の老朽化や展示資料の分散，収蔵スペースの不足等の課題がある。

⑤ーウ 旧東郷家住宅離れ【明治23年建築，木造平屋建て，延べ面積37㎡】

- ・呉鎮守府参謀長として在任していた東郷平八郎が，明治23年5月から1年7ヶ月住んでいた邸宅離れを昭和54年に移築。平成9年，国登録有形文化財に登録。

⑤ーウ 旧高鳥砲台火薬庫【明治35年建設，石造平屋建て，延べ面積40㎡】

- ・明治35年，陸軍が設置した高鳥砲台の近くに建てられた火薬庫を昭和42年に移築。平成23年，国登録有形文化財に登録。

⑤ーウ 旧呉海軍工廠塔時計【大正10年設置】

- ・旧呉海軍工廠造機部の屋上に設置され，終戦まで海軍工廠とともに歴史の時を刻んできた。昭和46年に移設展示。昭和56年，呉市有形文化財に指定。

⑤ーエ 郷土館

【昭和54年建築，RC地上2階・地上1階，延べ面積：354.4㎡】

- ・呉市の歴史資料を展示・収蔵しているが，設備の老朽化や展示資料の分散，収蔵スペースの不足等の課題がある。

⑤ーエ 2号館【昭和42年建築，レンガ造平屋建て，延べ面積：76㎡】

- ・呉市の歴史資料を収蔵しているが，設備の老朽化や収蔵スペースの不足等の課題がある。

●東郷元帥ゆかりのイチョウ

- ・イギリス・ウェールズの造船所で日本海軍の軍艦「比叡」が建造された。「比叡」の進水式の際，日本政府から感謝の印としてイチョウの木が贈られ，イギリス海軍の官舎の庭に植えられた。東郷平八郎が「比叡」を日本に回航したことから，東郷元帥ゆかりのイチョウとして語り継がれてきた。
- ・令和2年7月，このイチョウの木から挿し木で得られた苗木を植樹。

●乙女椿

- ・昔，長者の娘と貧しい漁師の若者との恋が結ばれることを許されず，2人は海に身を投じた。娘のなきがらが流れ着いた呉浦に，椿が開花し，夜になると光を発し，舟人たちが舟旅の目印にしたとの伝説が残る。現在は2代目

2 幸町地区総合整備コンセプト

「呉の歴史と文化を未来へ」

(2) 幸町地区に求める機能

■つどう

- ・ 市民がつどう
- ・ 来訪者がつどう
- ・ 芸術などの文化がつどう
- ・ サードプレイスのような場所としてつどう

■つながる

- ・ 未来のこどもたちへつなげる
- ・ 市民と来訪者がつながる
- ・ 仲間どうしがつながる
- ・ 呉の物語を未来へつなげる

■感じる

- ・ もうひとつの「呉」
ここでしかできないもの・ことを体感する
まちや人々の歴史・文化などの物語を感じる
- ・ 幸町地区の歴史的・地理的経緯を踏まえ、
亀山神社、呉町の歴史や、海軍、海上自衛隊を
始めとした、海とともに歩んできた呉の歴史
に触れる(平和の大切さを感じる)

■育む

- ・ 呉の歴史、文化、伝統を学ぶ
- ・ まちへの愛着を育む
- ・ 新たな自分を発見し、成長する
- ・ 新たなものを生み出し、発信する

呉の歴史を伝え、感じる施設

文化・芸術に親しみ、発信する施設

まちの情報発信・賑わいの拠点

～ つどう・つながる・感じる・育む ～」

呉の歴史を伝え、感じる施設

- ◆呉の歴史を伝える出発点
- ◆呉の歴史を継承する場所
- ◆幸町地区が歩んできた物語を生かした施設
- ◆建物の歴史・価値を伝える施設
- ◆幸町地区の歴史的・地理的経緯を踏まえ、海軍・海上自衛隊を始めとした、海とともに歩んできた呉の歴史を通じて、平和を感じる場所
- ◆「この世界の片隅に」に関連した施設
(当時の市民の生活を感じることができる施設)

文化・芸術に親しみ、発信する施設

- ◆美術館機能（美術館を中心とした文化の拠点）
- ◆スタジオ・ホール機能、ハブ的な機能
(様々な活動に取り組み、発信する場所)
- ◆呉の文化に親しみ、自ら発信できる場所
- ◆講座や自主サークルの活動ができる施設
- ◆文化・芸術に興味を持つきっかけとなる場所

まちの情報発信・賑わいの拠点

- ◆まちのコンシェルジュ
- ◆まちのインフォメーション
- ◆まち歩き拠点
- ◆サイクリストのための結節点
- ◆ものづくりのまちを発信する拠点
- ◆高校生を始めとした若い世代の人たちのための場所
 - ・気軽に来訪できる施設
 - ・何かを創造し、生み出すことができる場所
 - ・家や学校ではない、もう一つの場所
- ◆飲食・物販・宿泊機能

(3) 幸町地区に求める機能と新たに整備する施設

呉の歴史を伝え、感じる施設

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設
・郷土館・歴史民俗資料館の機能の充実	・歴史展示室・収蔵庫
・海軍関連の文学作品・資料の展示，書齋の再現	・文学館
・「この世界の片隅に」の原画等の展示	⇒映像作品ライブラリー
・映像作品ライブラリー，ロケ作品の紹介	・映像作品ライブラリー
・青山クラブ及び桜松館を含めた幸町地区の歴史の紹介（パネル展示）	⇒歴史展示室
・旧呉鎮守府司令長官官舎のユニークベニューとしての活用	—
・旧鎮守府司令長官官舎周辺の樹木の管理（海の見える眺望の確保）	屋外スペース
・園内路の整備（当時の遊歩道の復元）	屋外スペース

文化・芸術に親しみ、発信する施設

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設
・美術館機能の展示スペース，収蔵機能の強化・拡充	・新美術館
・音楽やダンスなどの活動を発表できるホール機能	・多目的ホール
・音楽活動の練習室	・音楽活動練習室
・絵画教室などのサークル活動やワークショップができる多目的スペース，貸館機能	・多目的スペース・貸室
・呉市の食文化の紹介	⇒歴史展示室
・故山苑の魅力向上	屋外スペース

まちの情報発信・賑わいの拠点

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設
・まちの情報発信・賑わいの拠点	・情報発信コーナー
・サイクリストの休憩スペース（サイクルスタンド）	屋外スペース
・カフェまたはレストラン	・カフェ・レストラン
・物販施設 美術館と併設したショップ 呉のお土産の販売、 チャレンジショップ マルシェ等	・物販施設
・宿泊施設	・宿泊施設
・青山クラブ中庭の整備 （イベント開催が可能なオープンスペース）	屋外スペース
・誰でも休憩できるフリースペース	・フリースペース
・スポーツ施設の関連施設	⇒美術館別館1階で検討

※まちの情報発信・賑わいの拠点の機能については、7ページに掲載している機能をふまえて記載しています。検討に当たっては、呉駅周辺地域総合開発の中で整備する機能との相乗効果を図る必要があります。

高校生を始めとする若い世代の意見の聞き取り(令和6年9月~10月にかけて実施)

近隣の高等学校等(呉宮原高等学校, 呉青山高等学校, 清水ヶ丘高等学校, 呉工業高等専門学校)の生徒・学生を対象として, 「高校生を始めとした若い世代の人たちの場所」として, 必要となる機能の具体的内容等の聞き取りを実施しました。

【主な意見】

- ・軽食や飲み物, 文房具等を買うことができるお店や, 気軽に入ることができるお店があると良い。
- ・自習や談話等で気軽に使うことができるフリースペースがあると良い。
- ・ストリートピアノなど, 自由に演奏できる楽器があると良い。
- ・文化・芸術を学ぶ場にするとともに, 自由に創作活動ができる場になると良い。
- ・呉の港や街並みの景観を見ることができる建物になれば良いと思う。
- ・青山クラブの建物を保存する必要は感じない。建物の一部保存や, 内装の再現等により, 思い出を残す方法を検討すれば良いのではないか。
- ・ピロティ構造(建物の一階部分が柱だけで支えられており, 空洞になっている構造)の建物にするなど, 国道や美術館通りからアクセスしやすい, 入りやすい空間にしてほしい。

なお, 青山クラブ・新美術館の景観のイメージ(色合い)については, 現行の赤い色が良いという意見や, 全く新しい外観にした方が良いという意見がありました。

3 幸町地区総合整備事業案

(1) 幸町地区施設・機能配置案



引用:Google Map

●新美術館（建物新築整備）

- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
 - ・美術館の新築整備に加え、桜松館のホール機能の移転

①青山クラブ（一部保存して活用）

- まちの情報発信・賑わいの拠点
 - ・情報発信コーナー，フリースペース，サイクルスタンド，カフェ・レストラン，物販施設，宿泊施設，多目的スペース・貸室，音楽活動練習室
 - ・青山クラブ中庭の整備

②桜松館（建物解体→オープンスペースとして活用）

- まちの情報発信・賑わいの拠点
 - ・美術館通りから直接アクセスできるオープンスペースとして活用
 - ・桜松館のホールの一部は，新美術館に整備するホールに移設して活用

③現美術館（改修して活用）

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
 - ・歴史展示室・収蔵庫（入船山記念館からの一部機能移転の検討），文学館，「この世界の片隅に」展示スペース，映像作品ライブラリー
 - ・故山苑の魅力向上

④美術館別館

- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
 - ・美術館機能の展示スペース，収蔵機能の強化・拡充
- まちの情報発信・賑わいの拠点
 - ・喫茶コーナーとしての活用に加え，入船山公園への陸上競技場の整備を受けて，スポーツ施設の関連施設としての活用を検討

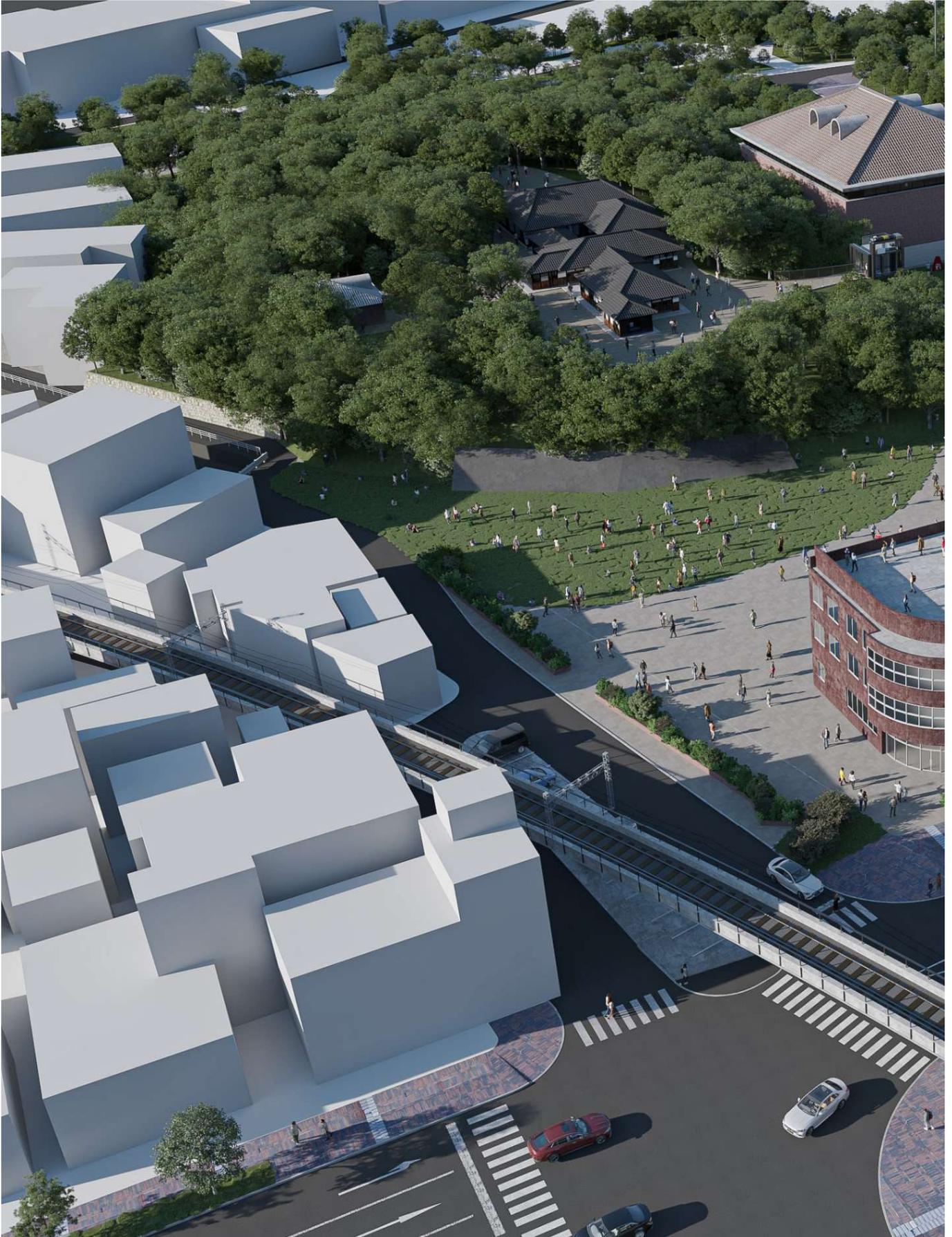
⑤入船山記念館

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
 - ・通常の見学に加え，ユニークベニューとしての活用
 - ・歴史資料（近世文書等）の活用及び収蔵機能の充実
 - ・現美術館への一部機能の移転検討

⑥幸町エリア全体

- ・旧長官官舎から海の見える眺望の確保，土砂災害特別警戒区域への対策
- ・幸町地区回遊性向上案の検討（バリアフリー対応，空中回廊や園内一周路の整備等）

(2) 幸町地区総合整備イメージパース





※本イメージパースは、あくまでもイメージであり、確定のものではありません。
※各施設の具体的な整備内容については、今後、詳細な検討をふまえ、決定します。

(3) 青山クラブ保存・活用案(一部保存)

有識者会議では、青山クラブの建物の一部保存を基本として、エリアデザインのとりのまとめを行います。



青山クラブの建物の印象的なRの形状の部分

青山クラブの一部保存の基本的な考え方

- ・ 青山クラブの建物の印象的なRの形状の部分 (国道とJR呉線に面した建物北側のR状の形状となっている部分) のイメージを継承することを重視する。
- ・ 青山クラブのRの部分を中心に景観のイメージを継承することを重視することから、建物の一部保存の範囲及び保存方法については、柔軟に設定する。
- ・ 具体的な整備内容は、今後の検討事項とし、一部保存やデザインの継承による新築整備も含め、柔軟に検討する。

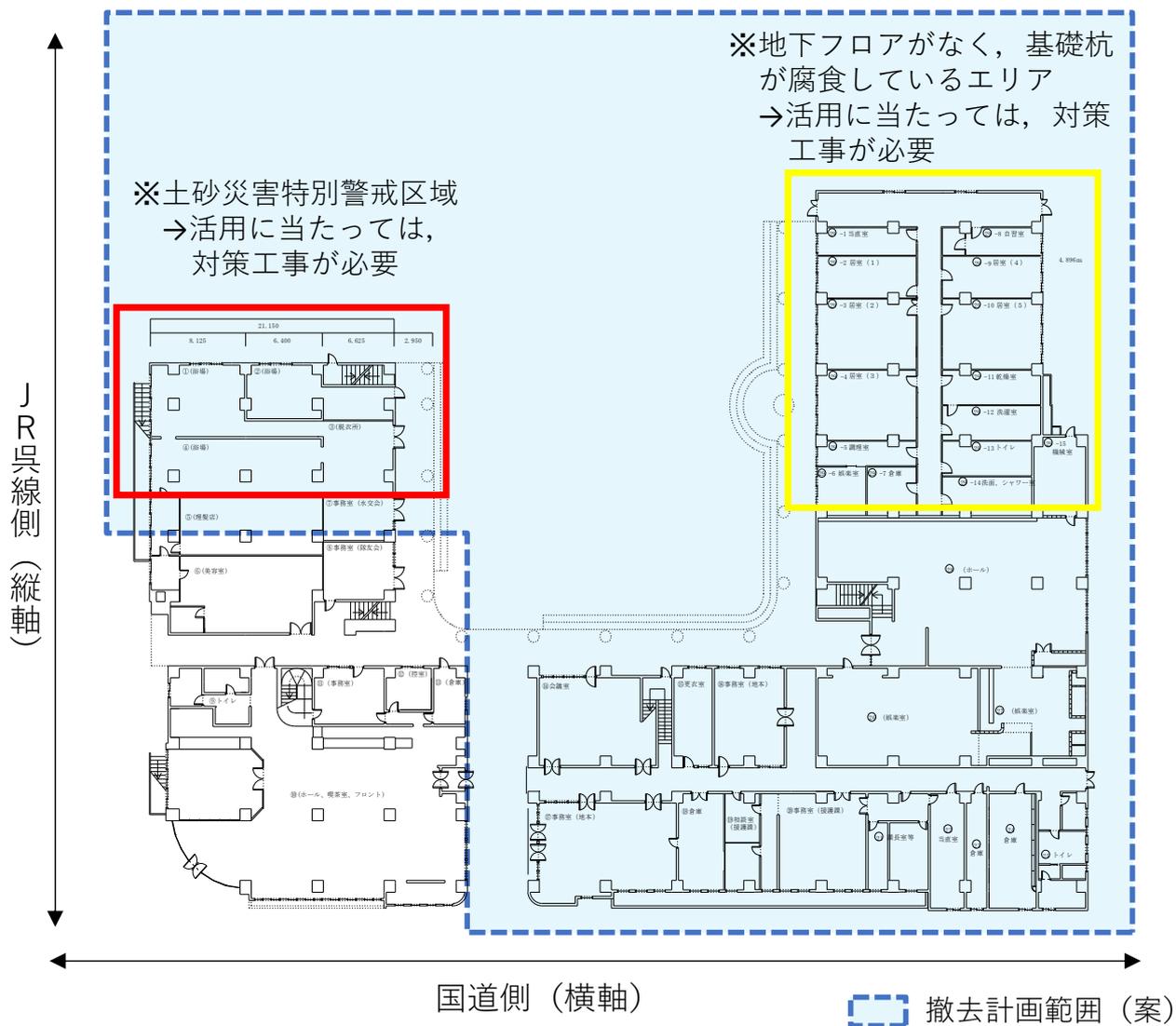
青山クラブの保存部分の考え方

- ・ 短期荷重(地震力)、長期荷重(積載荷重)に対する補強が必要となる。
- ・ 補強により、建物の活用可能面積が減少するとともに、天井高が低くなることで、建物内部の使用方法が制限されることが懸念される。
- ・ スラブ・梁とも耐荷重が小さく、建物全体で床補強が必要となり、補強費の増大が懸念される。
- ・ 既存建物を利用した改修となるため、新築建物と比較した場合、将来的な維持管理に係る費用が増大することが懸念される。
- ・ 現行法規の制定以前に建築された建物のため、利活用にあたっての改修方法について、現行法規への適合性の整理が必要になるとともに、活用に当たって、制約が生じることが懸念される。
- ・ 保存部分についても、現在の建物をそのまま活用することはできない(建物の大部分において耐震改修工事・補強工事、アスベストの除去、内装・設備機器一式の更新等、大規模な改修が必要)。

青山クラブの活用の考え方

- ・ 青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェレストラン等の必要な機能の想定面積を収めるとともに、撤去エリアに美術館を新築する。
- ・ 美術館新築部分について、青山クラブの建物のイメージを踏まえた外観とすることは可能である。

青山クラブの撤去計画範囲（案） | 階



撤去計画範囲（案）の考え方

- ・建物躯体撤去に係る制限は特にはないものと想定される。
- ・このため、撤去範囲については、計画案に応じて柔軟に設定することが可能である。

※青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェレストラン等の必要な機能の想定面積を収めることを想定し、青山クラブの一部保存案として、次の撤去計画範囲を提示する。

【撤去計画範囲（案）】

- ・国道側（横軸）については、1階・中庭通路部分を境界線として撤去計画範囲を設定する。
- ・JR呉線側（縦軸）については、3階柔道場までを活用範囲として設定する。

※1階のみを保存し、2・3階を解体・撤去することや、撤去範囲を現在の計画範囲よりも広くすることも可能である。

- ・この場合は、美術館の新築整備エリアを拡大し、情報発信等の必要な機能の想定面積を収めることも考えられる。

青山クラブの各フロアのゾーニング案

- ・撤去計画範囲（案）に基づく，各フロアのゾーニング案を提示する。
- ・詳細なレイアウトについては，今後，基本設計・実施設計の中で検討が必要である。

【1階】

- ・アクセス性の良いR状の正面玄関部分にカフェを配置
- ・手前のアクセスしやすい整形区画に情報発信コーナー・フリースペースを配置
- ・カフェと情報発信コーナー・フリースペースの一体空間をイメージ

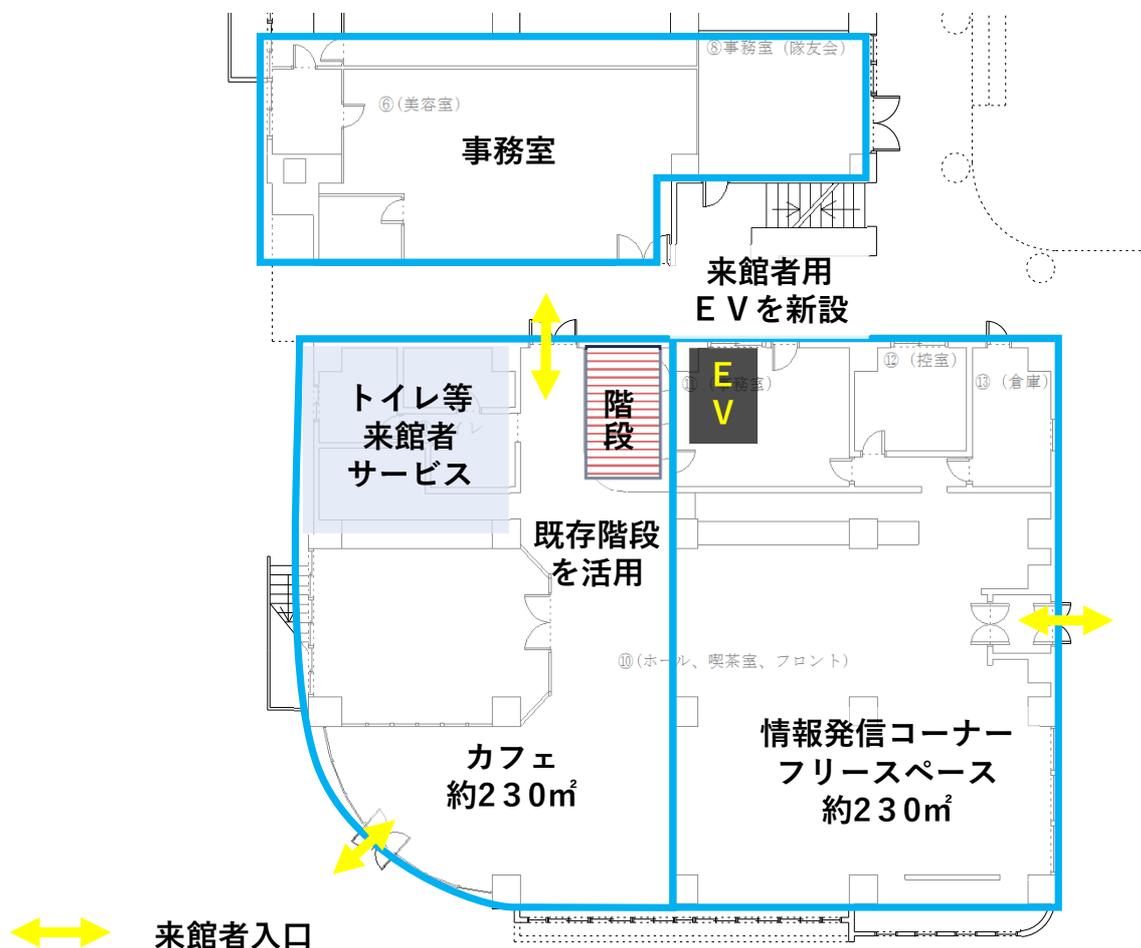
【2階】

- ・物販機能は1階が望ましいが，小割区画のチャレンジショップの集合体を想定し，目的性の高いゾーンとして2階に配置

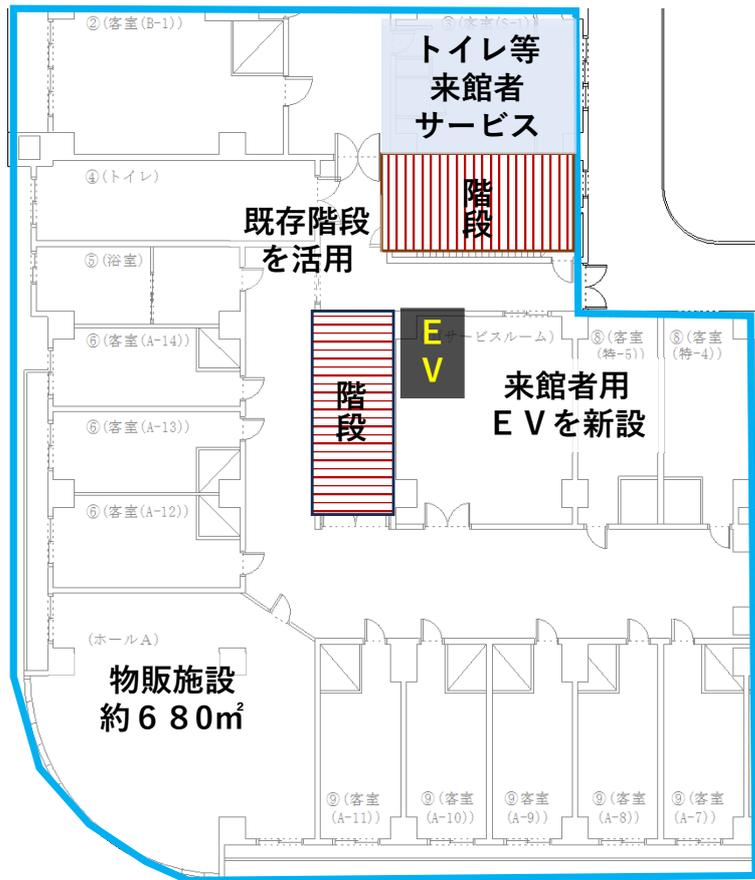
【3階】

- ・3階は目的性が必要なフロアのため，目的性のある大型レストランを眺望が良いR状の部分に配置
- ・多目的スペース・貸室は，美術館の関連施設としての活用や桜松館の音楽活動練習室の機能移転も検討

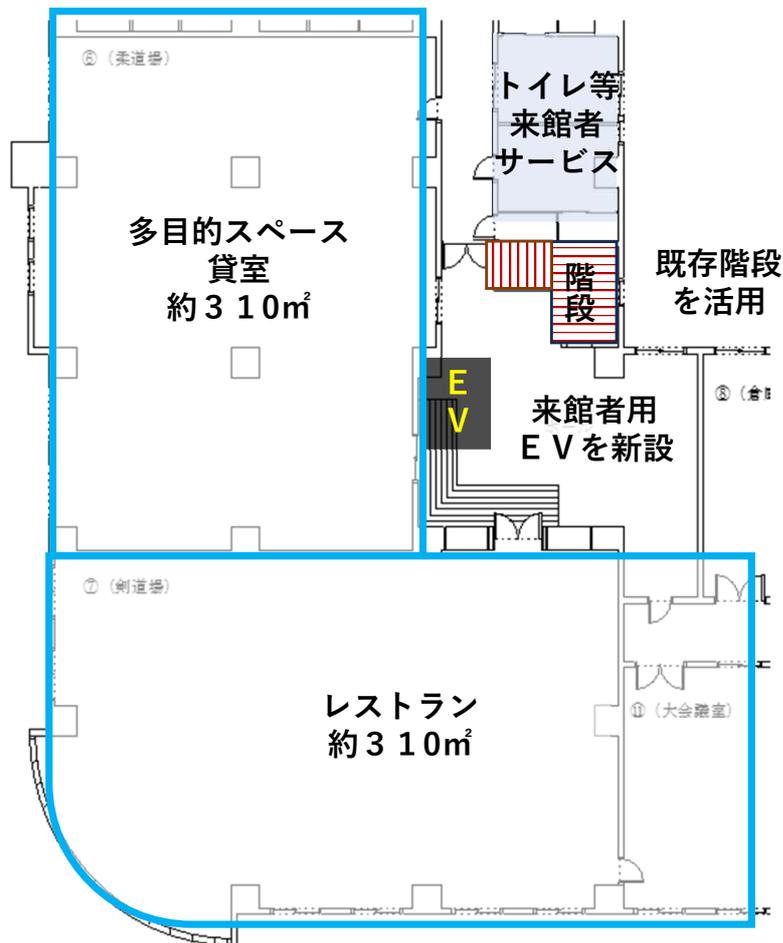
青山クラブ一部保存 1階ゾーニング案



青山クラブ一部保存 2階ゾーニング案



青山クラブ一部保存 3階ゾーニング案



(4) 青山クラブ保存・活用案(全部保存)

有識者会議では、青山クラブの建物の一部保存を基本として、エリアデザインのとりにまとめを行います。建物を全部保存すべきとの意見も挙げられています。ここでは、青山クラブの全部保存の場合の保存・活用の考え方を整理します。



青山クラブの全部保存の基本的な考え方

- ・海軍の下士官兵集会所として建設され、戦後は英連邦占領軍が司令部を設置。戦後は、海上自衛隊の厚生施設として使用されるなど、呉の市民生活に密着した施設として、貴重な存在であることから、**建物を全部保存**する。
- ・一部保存案の場合に比べて、耐震改修等対策工事が多く必要になる。

青山クラブの保存部分の考え方

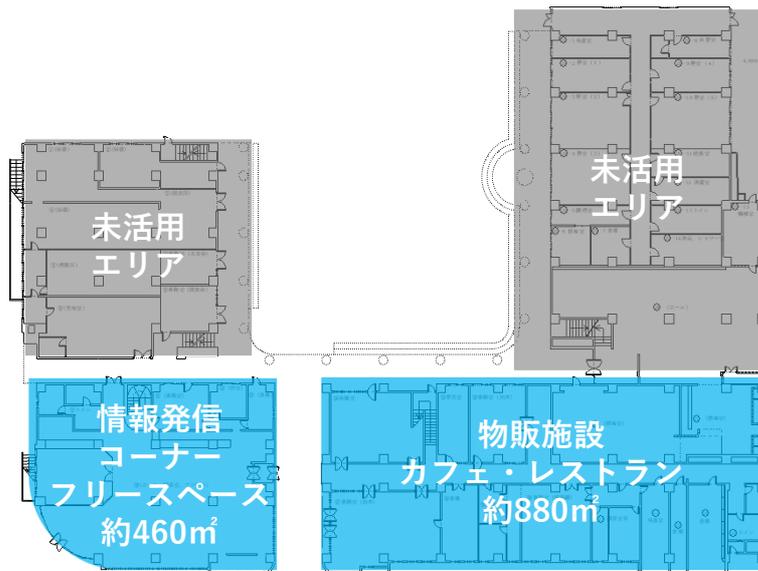
- ・短期荷重（地震力）、長期荷重（積載荷重）に対する補強が必要となる。
- ・補強により、建物の活用可能面積が減少するとともに、天井高が低くなることで、建物内部の使用方法が制限されることが懸念される。
- ・スラブ・梁とも耐荷重が小さく、建物全体で床補強が必要となり、補強費の増大が懸念される。
- ・既存建物を利用した改修となるため、新築建物と比較した場合、将来的な維持管理に係る費用が増大することが懸念される。
- ・現行法規の制定以前に建築された建物のため、利活用にあたっての改修方法について、現行法規への適合性の整理が必要になるとともに、活用にあたって、制約が生じることが懸念される。
- ・**保存部分についても、現在の建物をそのまま活用することはできない**（建物の大部分において耐震改修工事・補強工事、アスベストの除去、内装・設備機器一式の更新等、大規模な改修が必要）。

青山クラブの活用の考え方

- ・歴史展示室・収蔵庫、文学館等の「呉の歴史を伝え、感じる施設」と、情報発信、物販・カフェレストラン等の「まちの情報発信・賑わいの拠点」となる施設を配置する。
- ・必要な機能の想定面積に対して延床面積が大きいため、**将来活用エリアを設定**する。また、土砂災害特別警戒区域部分、基礎杭が腐食している区域は未活用エリアとする。

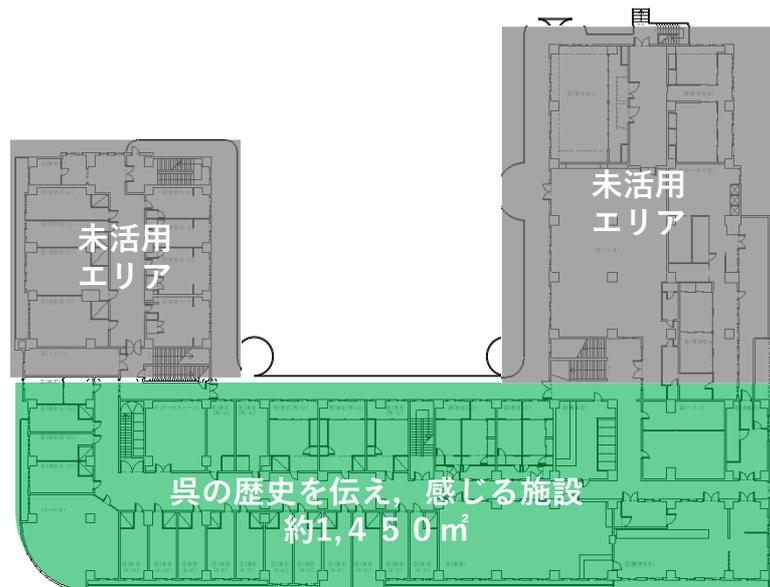
青山クラブ全部保存 1階ゾーニング案

- ・まちの情報発信・賑わいの拠点に関する施設を設置



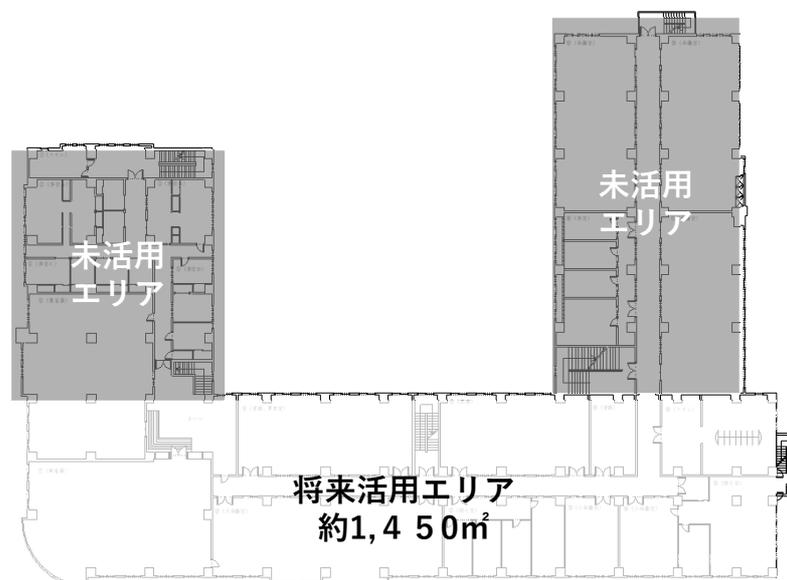
青山クラブ全部保存 2階ゾーニング案

- ・呉の歴史を伝え、感じる施設を設置

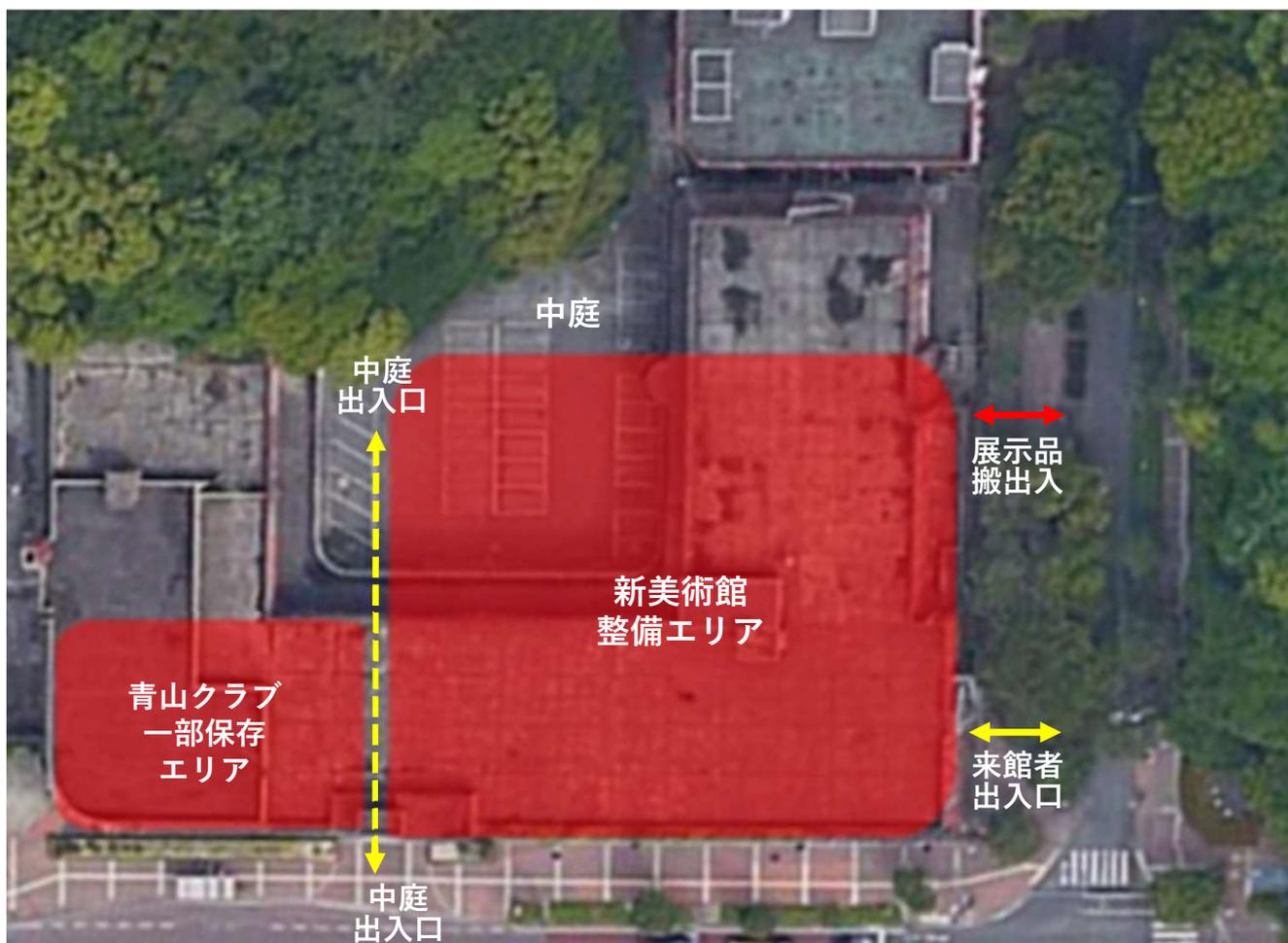


青山クラブ全部保存 3階ゾーニング案

- ・将来活用エリアとして設定



(5) 美術館新築案



美術館整備概要

- ・美術館の新築整備に加え、桜松館のホール機能を移転する。
（講演会、発表会等が開催できる小規模なホールの整備）
 - ・青山クラブの建物の解体部分及び中庭の一部の「新美術館整備エリア」において、建築面積・階数も含めて、柔軟に設定する。
 - ・賑わい創出のための広場・スペースの整備について、館内・館外も含めて柔軟に検討する。
 - ・来館者動線については、出入口（正面玄関）を国道側ではなく美術館通り側に計画し、落ち着いた雰囲気確保する。
 - ・展示品搬出入動線については、美術館通り側に設置することで、搬入・搬出作業を行いやすい環境を確保する。（美術品専用車動線を想定）
- ※美術館の具体的な整備内容については、美術館あり方検討委員会での意見とりまとめ後、市で決定する。

メリット

- ・建築面積を広く設定することが可能であり、美術館として自由度の高い平面計画が可能となる。
- ・リニューアルによる休館期間が短期間となる。
- ・国道沿いに美術館を配置することで、開放感のある美術館とすることができる。
- ・国道沿いに美術館を設置することで、子どもや高齢者の訪れやすい施設となり、地区全体の集客力あるエントランスになる。

(6) 桜松館解体・ホール部材移設案



□ 桜松館ホールの特徴的な装飾

基本的な考え方

- ・桜松館の建物を全部解体し、ホール機能については、新美術館に移転する。
- ・桜松館のホール部分には特徴的な装飾がみられるため、可能な限り装飾物を保存し、新美術館のホールに移設して活用する。
- ・保存できない装飾物については、必要に応じて新美術館のホールで再現を行う。
- ・桜松館から音楽が聞こえ、外から見えていたなど、桜松館のホールのイメージを継承することを重視する。
- ・桜松館を解体した跡地については、美術館通りに面したオープンスペース、園内の周遊路として整備する。

撤去計画の考え方

- ・建物躯体撤去に係る制限は特にはないものと想定される。
- ・撤去範囲については、計画案に応じて設定することが可能である。

(7) 美術館別館活用案



地下（収蔵庫）

- ・引き続き、美術品等の収蔵庫として活用する。

1階（ミニギャラリー・喫茶コーナー）

- ・引き続き、ミニギャラリー・喫茶コーナーとして活用する。
- ・入船山公園への陸上競技場の整備を受けて、スポーツ施設の関連施設としての活用を検討する。

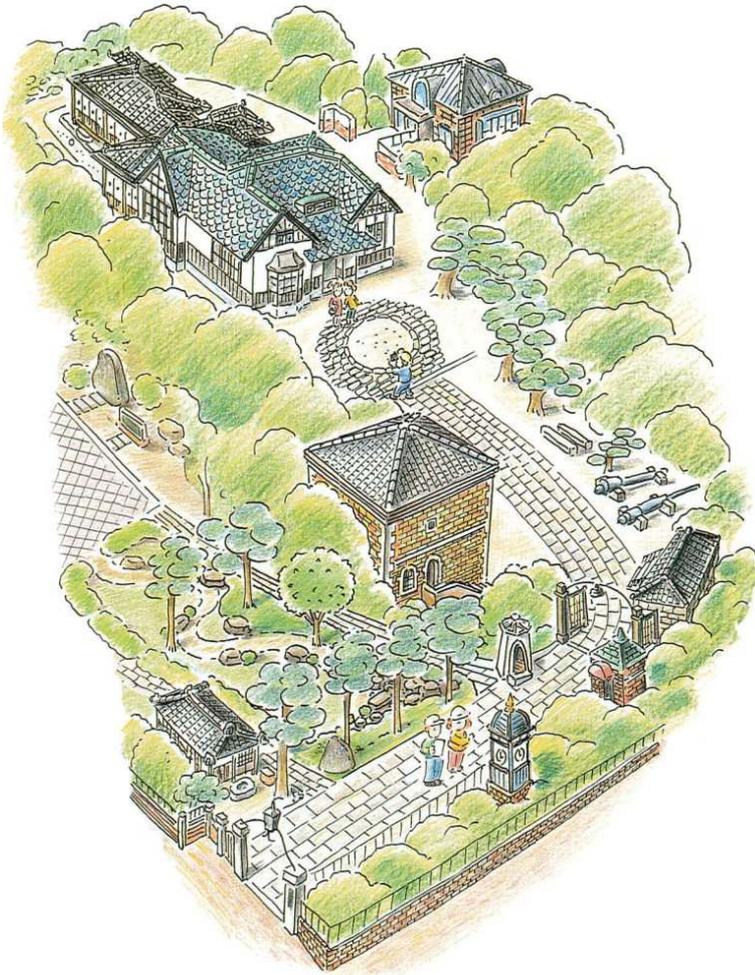
(8) 現美術館改修案



基本的な考え方

- ・耐震改修の実施（屋根部分）
- ・施設を改修して、呉市の歴史資料の収蔵・展示施設として活用する。

(9) 入船山記念館活用案



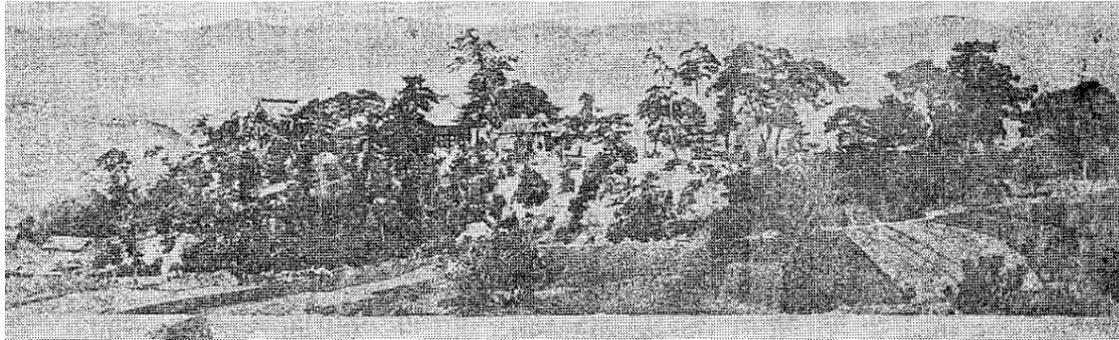
基本的な考え方

- ・通常の見学に加え、ユニークベニューとしての活用を検討する。
- ・歴史資料（近世文書等）の活用及び収蔵機能の充実を図る。
- ・現美術館への一部機能の移転を検討する。

(10) 入船山整備案

入船山の樹木の維持管理について

- ・旧呉鎮守府司令長官官舎周辺の樹木について、適切な維持管理を行う。
- ・海の見える眺望の確保や、施設利用者への安全面に留意した整備を行う。



明治19年以前
の入船山

土砂災害特別警戒区域対策について

- ・幸町地区の敷地の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されている（想定自然現象はがけ崩れ）。
- ・レッドゾーン解消方法としては、各種擁壁による対応が想定されるが、工事の可否、工事費算出も含め確度の高い調査が必要である。

【工法例】

●擁壁工

- ・斜面部にコンクリートで擁壁を作ること
で、斜面下部の崩壊抑止および斜面上部
からの土砂くい止めに効果を発揮する。



●土留柵工

- ・斜面に鋼製の杭を打ち込むことで、表土
の崩壊を抑制する。
 - ・膜材を柵状に設置することで土砂くい止
めに効果を発揮する。
- ※現存植生を残すことが可能である。



●法枠工

- ・斜面にコンクリート製の枠を組み、枠内
を植生やコンクリートで被覆することで
斜面を保護する。



入船山記念館旧呉鎮守府司令長官官舎へのアクセス向上の検討

- ・幸町地区内に，入船山記念館旧呉鎮守府司令長官官舎へバリアフリーでアクセス可能なルート整備を検討する。
（案）桜松館跡地のオープンスペースに，旧呉鎮守府司令長官官舎と高さを合わせたエレベーター塔を整備
- ・エレベーター塔最上部と旧呉鎮守府司令長官官舎を空中回廊で結ぶ。
（最上部まではエレベーターで移動）

地区内回遊性向上の検討

- ・入船山公園駐車場と新美術館屋上を空中回廊で結び，駐車場からのアクセス向上を図る。

中庭・オープンスペース整備・活用案

- ・中庭を美術館通りからJR呉線側道路までのオープンスペースとして整備し，市民に開かれた賑わい空間として活用
- ・桜松館跡地については，美術館通りに面したオープンスペースとして整備する。
- ・新美術館に，賑わい創出のための広場・スペースを整備する（館内・館外を含めて検討）
- ・屋外空間については，新美術館との連動を重視した整備を検討する。

駐車場整備・活用案

- ・幸町地区の駐車場については，入船山公園駐車場の活用を基本とするとともに，入船山公園多目的広場に整備する陸上競技場に設置する駐車場の活用についても検討する。
- ・幸町地区内で，障害者等用駐車区画や業務用駐車区画等，必要となる駐車場の整備を検討する。



熊本城特別見学通路【出典】公式HP



八戸市美術館【出典】公式HP



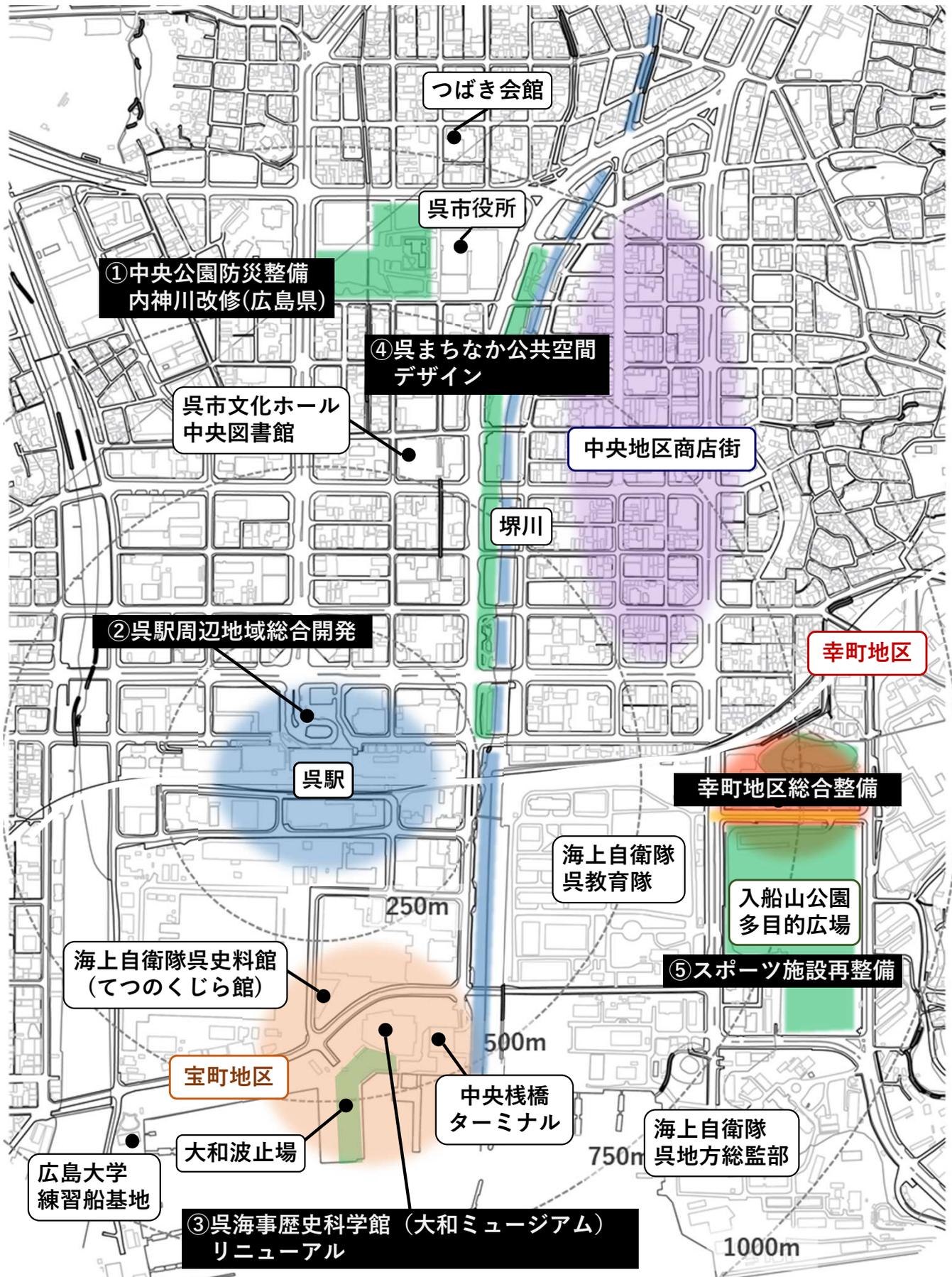
入船山秋祭り



立誠ひろば【出典】公式HP

(12) 中央地区回遊性向上案

中央地区まちづくり事業



①中央公園防災整備・内神川改修

●中央公園防災整備

- ・市役所西側エリアにおいて、広域避難場所としての機能を向上させ、災害発生時に市役所本庁舎や呉市体育館と連携した防災中枢拠点として防災機能の強化を図るため、再整備を実施する。

●内神川改修（広島県実施事業）

- ・大雨の際の溢水による浸水被害の軽減させるため、中央公園内を通る内神川の河道拡幅や堺川に向けて分岐する分水路を新たに整備する。

②呉駅周辺地域総合開発

- ・まちの魅力とひとの交流をつなぎ、広げ、新たな価値を創造する「交通まちづくりとスマートシティの発信拠点の形成」に向け整備を実施する。

③呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）リニューアル

- ・平成17年4月に開館した大和ミュージアムをリニューアルし、博物館として更なる魅力向上を図る。

④呉まちなか公共空間デザイン

- ・蔵本通りと堺川沿いの中央公園一帯の公共空間を、多様な人が出会い、交流・滞留することができる、人中心のウォークアブルな空間として再構築し、様々なまちづくりを結ぶ場とする。

⑤スポーツ施設再整備（入船山公園多目的広場への陸上競技場整備）

- ・呉市総合スポーツセンターの陸上競技場を移転し、新たな陸上競技場を整備する。

【仕様案】

- ・トラック(全天候舗装)：400m×8レーン（日本陸連第3種公認）
サブトラック：100m(直走路)
- ・フィールド(天然芝又は人工芝)：105m×68m
- ・主要設備 観客席：約1,000席，芝スタンド
- ・駐車場台数：約400台
- ・トラック内フィールドやスタンドを活用した運動会や地域行事・イベント等の実施も可能



呉駅周辺地域総合開発



大和ミュージアムリニューアル

4 整備事業費，整備・運営方法 整備スケジュール案

(1) 整備事業費

全体事業費の整理

・幸町地区総合整備エリアデザインに係る全体事業費を次のとおり提示する。

項目	事業費	内訳
①新美術館・青山クラブ整備費	約65億円	・新美術館 約32億円 ・青山クラブ 約33億円(※) (※)青山クラブの1階から3階を保存・活用した場合の事業費(保存・活用面積を縮小した場合は減額となる)
②桜松館解体費	約3億円	
③現美術館改修費	約7億円	
合計	約75億円	

青山クラブ整備費内訳・・・耐震・補強：約9億円，アスベスト除去：約3億円
建物等撤去：約10億円，建物・外構：約11億円

事業費算出の考え方

- ①新美術館整備費
 - ・類似事例をもとに算出
八戸市美術館：約32億円，延べ面積：4,586㎡
東広島市立美術館：約21億円，延べ面積：3,947㎡
 - ①青山クラブ整備費，②桜松館解体費
 - ・令和5年度に実施した「青山クラブ・桜松館建物基礎躯体等調査業務」をもとに算出
 - ③現美術館改修費
 - ・令和2年度に実施した「呉市立美術館耐震診断業務」をもとに算出
- ※事業費は，建物の概算整備費用であり，展示製作費や，中庭・オープンスペース・空中回廊等の整備費は含まない。

【参考】青山クラブ・桜松館全部保存の場合の全体事業費

・青山クラブ・桜松館の全部保存の場合の全体事業費を次のとおり提示する。
・なお，青山クラブ全部保存の場合，美術館は現在地での建替となる。

項目	事業費	内訳
①青山クラブ整備費	約93億円	耐震・補強・・・約42億円 アスベスト除去・・・約3億円 建物等撤去・・・約3億円 建物・外構・・・約45億円
②桜松館整備費	約25億円	耐震・補強・・・約11億円 アスベスト除去・・・約1億円 建物・外構・・・約13億円
③美術館新築費	約24億円	
④現美術館解体費	約3億円	
合計	約145億円	

(2) 整備・運営方法

整備・運営方法の検討に当たって

- ・設計者の選定に当たっては、設計競技方式（コンペ方式）や、プロポーザル方式など、幅広く検討する必要がある。
- ・管理運営に当たっては、各施設の性格をふまえ、個別に管理運営方法を検討するとともに、地区全体での管理運営の在り方についても検討する。
- ・幸町地区総合整備事業の実施及び管理運営に当たっては、PPP/PFI手法の導入検討など、民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用が求められる。
- ・施設の運用に当たっては、市民や民間事業者から、様々な企画・立案が行われ、新しいアイデアが生まれるような、ソフト面での取組が重要である。

【参考】PPP/PFI手法

- PPP（Public Private Partnership）
公共施設等の建設，維持管理，運営等を行政と民間が連携して行うことにより，民間の創意工夫等を活用し，財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。
- PFI（Private Finance Initiative）
PFI法に基づき，公共施設等の建設，維持管理，運営等を民間の資金，経営能力及び技術的能力を活用して行う手法
- 公共施設の設計・建設・改修，維持管理・運営等を伴う方式
 - ・BTO（Build Transfer Operate）
民間事業者が公共施設等を設計・建設し，施設完成直後に公共側に施設の所有権を移転し，民間事業者が維持管理・運営等を行う方式
 - ・BOT（Build Operate Transfer）
民間事業者が公共施設等を設計・建設し，維持管理・運営等を行い，事業終了後に公共側に施設の所有権を移転する方式
 - ・BOO（Build Own Operate）
民間事業者が公共施設等を設計・建設し，維持管理・運営等を行い，事業終了時点で施設等を解体・撤去するなど公共側への施設の所有権移転がない方式
 - ・BT（Build Transfer）
民間事業者が公共施設等を設計・建設し，公共側に施設の所有権を移転する方式
 - ・RO（Rehabilitate Operate）
既存の公共施設等の所有権を公共側が有したまま，民間事業者が施設を改修し，改修後に維持管理・運営等を行う方式
 - ・DBO（Design Build Operate）
民間事業者に公共施設等の設計・建設の一括発注と，維持管理・運営等の一括発注を包括して発注する方式
- 公共施設等の維持管理，運営等を行う方式
 - ・コンセッション方式
利用料金を収受する公共施設等について，公共側が施設の所有権を有したまま，民間事業者が運営権を取得し，施設の維持管理，運営等を行う方式
 - ・O(Operate)
民間事業者に公共施設等の維持管理・運営等を長期契約等により一括発注や性能発注する方式
 - ・指定管理者制度
地方公共団体が公の施設の維持管理・運営等を管理者として指定した民間事業者に包括的に実施させる手法
 - ・包括的民間委託
公共施設等の維持管理・運営段階における複数業務・複数年度の性能発注による業務委託

(3) 整備スケジュール案

幸町地区総合整備スケジュール案（青山クラブ一部保存案の場合）

・幸町地区総合整備スケジュール案について、次のとおり提示する。

事項・施設	R7	R8	R9	R10
幸町地区全体	基本計画			
青山クラブ (保存部分)		調査	基本設計	実施設計
青山クラブ (解体)			解体	—
桜松館 (解体)		調査	解体	—
桜松館跡地 オープンスペース 整備		基本設計	実施設計	工事
新美術館			基本設計	実施設計
現美術館				
入船山記念館		必要となる調査・整備を実施		
入船山		必要となる調査・整備を実施		
空中回廊 (長官官舎)		調査	基本設計	実施設計
空中回廊 (駐車場)			基本設計	実施設計

- ・標準的な整備スケジュールとして提示しており，建物の調査等により，変更となる可能性が想定される。

事項・施設	R11	R12	R13	R14
幸町地区全体				
青山クラブ (保存部分)	工事		供用開始	
青山クラブ (解体)	—	—	—	—
桜松館 (解体)	—	—	—	—
桜松館跡地 オープンスペース 整備	供用開始			
新美術館	工事		供用開始	
現美術館	基本設計	実施設計	工事	
入船山記念館	必要となる調査・整備を実施			
入船山	必要となる調査・整備を実施			
空中回廊 (長官官舎)	工事	供用開始		
空中回廊 (駐車場)	工事		供用開始	

5 參考資料

(1) 幸町地区総合整備検討有識者会議

幸町地区総合整備検討有識者会議委員名簿

氏名	専門分野等	団体・機関・役職
岡 雄大	物販・飲食・宿泊等	株式会社Staple代表取締役
小野 香澄 第6回会議まで	まちづくり活動	特定非営利活動法人SYL
加茂 義永 第4回会議まで	自衛隊と市民の交流	海上自衛隊呉地方総監部管理部長
櫻井 猛 第5回会議より	自衛隊と市民の交流	海上自衛隊呉地方総監部管理部長
河崎 圭一郎	まちづくり活動	入船山秋祭り実行委員会
下倉 玲子	建築計画・教育施設	呉工業高等専門学校建築学科准教授
田中 貴宏 (座長)	都市計画	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
戸高 一成	歴史・文化	呉市海事歴史科学館・入船山記念館館長
福永 治	芸術・文化	京都国立近代美術館館長
松野 一成	耐震構造	呉工業高等専門学校建築学科教授
水田 丞	日本近代建築史	広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授
横山 勝彦 (副座長)	芸術・文化	呉市立美術館館長

- ・有識者会議の開催状況について、詳細（会議資料・摘録等）は、呉市企画課HPからご確認ください。



(2) 会議の開催状況とエリアデザインとりまとめの経緯

会議の開催状況

	日時	主な議題
第1回	令和5年5月31日(水) 18時～20時15分	・幸町地区の現状と課題の共有 ・地区に必要と考えられる機能について
第2回	令和5年8月2日(水) 18時～19時45分	・整備コンセプトについて ・各施設の在り方について
第3回	令和5年9月29日(金) 18時～20時	・整備コンセプトについて ・幸町地区に求める機能について
第4回	令和5年11月21日(火) 18時～20時15分	・整備コンセプトの取りまとめ ・幸町地区に求める機能の取りまとめ
第5回	令和6年3月27日(水) 18時～20時40分	・幸町地区に求める機能の具体案について ・幸町地区の機能の配置案について
第6回	令和6年6月3日(月) 17時～19時20分	・幸町地区総合整備事業案 美術館・青山クラブの整備に係る6案を提示
第7回	令和6年9月9日(月) 10時～11時40分	・第6回会議で絞り込んだ3案の詳細検討 ・幸町地区内の回遊性向上策について
第8回	令和6年11月11日(月) 17時～19時	・エリアデザイン案について
第9回	令和7年1月15日(水) 18時～19時	・エリアデザインのとりまとめ・報告

エリアデザインとりまとめの経緯

- ・第1回から第5回会議にかけて、整備コンセプトや、幸町地区に求める機能を検討した。
- ・第6回会議では、美術館の建替え及び青山クラブの保存・活用に係るこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、6案の整備案を提示し、検討を行った。
 - A案 美術館現在地建替案
 - ・ A-1案 青山クラブ全部保存案
 - ・ A-2案 青山クラブ一部保存案
 - ・ A-3案 青山クラブ外壁保存案
 - B案 美術館青山クラブ敷地新築案
 - ・ B-1案 青山クラブ一部保存＋外壁保存案
 - ・ B-2案 青山クラブ一部保存案
 - ・ B-3案 青山クラブ外壁保存案
- ・第7回会議では、第6回有識者会議において6案から絞り込んだ3案について、詳細な検討を実施し、第2案の美術館青山クラブ敷地・中庭新築＋青山クラブ一部保存案を基本としてエリアデザインをとりまとめることとした。
 - ・第1案 美術館現在地建替＋青山クラブ全部保存案
 - ・第2案 美術館青山クラブ敷地・中庭新築＋青山クラブ一部保存案
 - ・第3案 青山クラブ外壁保存案

幸町地区総合整備検討有識者会議事務局
(呉市企画部企画課)